

根室市産学官連携研究開発事業報告書（中間報告）

①研究課題	産業基盤を支える人材の育成	
②施策期間	始期：平成 22 年 10 月 終期：平成 25 年 3 月	
③研究者・連携先の担当者等	民間	高校生及び保護者 (根室高等学校及び西高等学校の進路指導部)
	大学	東海大学海洋学部海洋文明学科教授 山田吉彦
	行政	根室市総合政策部
④研究概要	根室市における新産業の創出による地域振興のために必要な施策や技術的課題の解決を図るため、[1]水産業を活かした地域振興、[2]水産加工の研究開発、[3]漁業資源増大対策の研究開発、[4]衛生管理の高度化の促進などに寄与し産業基盤を支える人材の育成を促進する。	
⑤研究成果（中間報告）		
[要旨]		
<p>市内の高校生や保護者等を対象に、東海大学海洋学部海洋文明学科より山田吉彦教授を招き、水産業に対する正しい認識を深めていただくことを目的とした「出前授業」を実施したほか、東海大学海洋学部との協議を重ねて北海道根室高等学校及び北海道根室西高等学校に各 2 名の指定校推薦入学枠を設けるなど、産業基盤を支える人材育成の促進を図った。</p> <p>また、中長期的な視点で水産技術者の育成や水産業の高度化を図るため、養成機関等に在学する学生への修学資金制度など、大学や高等学校の協力を得て行政支援やインセンティブな施策の在り方についての調査・研究を行った。</p>		
[取組状況（時系列）]		
平成22年10月	研究着手	
平成22年12月	大学、高等学校との意見交換	
平成23年1月	水産事業との意見交換	
平成23年4月	出前授業（中止、東日本大震災による。）	
平成23年9月	市内高等学校に東海大学海洋学部指定校推薦枠を設置	

平成23年10月 出前授業（大学教授による保護者や生徒を対象とした授業）
平成23年10月 水産技術者育成修学資金制度についての協議

[成果（中間）]

1. 出前授業の実施

平成23年10月、北海道根室西高等学校の生徒や保護者、教諭等を対象に、東海大学海洋学部海洋文明学科より山田吉彦教授を招き、水産業に対する正しい認識を深めていただくことを目的とした「出前授業」を実施し、同教授から根室市の財産を見つめ直し結び付けて魅力ある街を一緒につくろうと呼びかけるとともに、保護者向け資料を作成し全保護者へ配布して根室市の次代を切り拓く取り組みに積極的に関わる意欲を促した。

2. 指定校推薦枠の創設

設置学科等についての研究を重ねた結果、平成23年9月東海大学において平成24年度入試より北海道根室高等学校、及び北海道根室西高等学校に以下の学科に指定校推薦入学枠を設置し、進学者1名の実績となった。

ア. 海洋文明学科 各校1名

海辺の街や島々の歴史や文化、生活、産業と地域独自の社会問題等を学びながら、現場から考える力を養うために、様々な地域を訪ね、遺跡の調査や地元で暮らす人々へのインタビュー調査等の現場体験を通じ、企画力や行動力を有する人材を育成する。

イ. 水産学科食品科学専攻 各校1名

食品分野の基礎となる科学の分野を理解し、食品に関する保存、利用、加工、衛生管理等の専門的知識を身につけた、食品製造、商品開発、研究開発、品質管理などの最前線で活躍できる人材を育成する。

ウ. 進学実績

平成24年度入学者 1名（水産学科食品科学専攻）

3. 水産技術者育成修学資金制度

調査・研究に留まり成果なし。

⑥研究成果の公表、又はその準備状況

[市民への成果公表の方法]

随時、根室市ホームページにおいて公表した。

⑦平成24年度事業の展開と展望

[展開・展望]

大学教授による保護者や生徒を対象とした出前授業の実施（継続）

[課題]

昨今、北海道内各地においては一次産業から三次産業までの幅広い分野において、北海道フードコンプレックス国際戦略特区構想に代表されるように様々な施策を総動員し「食関連産業」の高付加価値化に向けた取り組みを強化しており、当市においても水産物を中心とした食産業を支える人材の育成は急務である。

しかしながら、人材の育成のための「水産技術者育成修学資金制度」については、単なる「人員不足の解消」のための支援施策との認識が強く、「人材の育成」という将来を見越した議論に発展しないため、制度化を断念せざるを得ない。

⑧その他、特記事項

当初計画どおり、平成25年3月をもって共同研究を終える予定である。

以上